

景況感は製造業は好転幅拡大、非製造業は悪化幅縮小 ～ 先行きに不透明感～

目 次

	ページ
調査要領	1
1. 概 況 -----	2
2. 業 況 判 断 製造業は好転幅拡大、非製造業は悪化幅縮小	3
3. 売 上 製造業、非製造業ともに増加幅拡大	3
4. 受 注 製造業は増加幅縮小、建設業は増加に転じた	4
5. 経 常 利 益 製造業は増加幅縮小、非製造業は減少幅縮小	4
6. 在 庫 製品在庫は過剰感上昇、商品在庫は過剰感低下	4
7. 販売価格・仕入価格 販売価格は低下幅縮小、仕入価格は上昇幅拡大	5
8. 資金繰り・借入金残高 資金繰りは製造業、非製造業ともに横ばい	5
9. 雇 用 製造業、非製造業ともに過剰感低下	6
10. 設 備 投 資 製造業は増加、非製造業は減少 補修・更新が主	6
11. 経 営 上 の 問 題 点 「売上・受注の減少」、「先行き見通し難」、「過当競争」が上位	7

調査要領

調査目的	鳥取県内の企業動向を調査し、県内景気の現状及び先行きを把握するため
調査対象	県内企業 207 社、回答企業 88 社、回答率 42.5%
調査方法	各支店を通じるか、または郵送による記名式回答
調査対象期間	平成 22 年 10 ~ 12 月実績及び平成 23 年 1 ~ 3 月予想
調査時点	平成 23 年 1 月上旬 ~ 中旬

業種別回答企業数

		回答企業数	構成比	うち中小企業	構成比
製 造 業	食 料 品	7	8.0	7	100.0
	織 維 ・ 縫 製	1	1.1	1	100.0
	木 材 ・ 木 製 品	2	2.3	2	100.0
	紙 ・ 紙 加 工 品	5	5.7	5	100.0
	窯 業 ・ 土 石	5	5.7	5	100.0
	金 属 ・ 機 械	14	15.9	13	92.9
	電 気 機 械	11	12.5	10	90.9
	印 刷 ・ そ の 他	4	4.5	4	100.0
計		49	55.7	47	95.9
非 製 造 業	建 設 業	10	11.4	9	90.0
	卸 売 業	13	14.8	13	100.0
	小 売 業	7	8.0	4	57.1
	運 輸 業	4	4.5	4	100.0
	旅 館 ・ ホ テ ル	5	5.7	5	100.0
計		39	44.3	35	89.7
全 部 門 合 計		88	100.0	82	93.2

注：中小企業の範囲

- 製造業・建設業・運輸業... 資本金3億円以下または従業員300人以下の企業
- 卸 売 業..... 資本金1億円以下または従業員100人以下の企業
- 小 売 業..... 資本金5千万円以下または従業員50人以下の企業
- サ ー ビ ス 業..... 資本金5千万円以下または従業員100人以下の企業

BSIとは

ビジネス・サーベイ・インデックスは業況や売上など項目ごとに、企業経営者の「好転」、「不変」、「悪化」の判断を集計し指標化したもので、時系列的に景気の動きを把握するもの。BSIがプラスならば全体として「良い・上昇・好転」とみなされ、逆にマイナスは「悪い・低下・悪化」と判断できる。

1 概況.....県内景況感は製造業が好転幅拡大、非製造業は悪化幅縮小 ～先行きに不透明感～

鳥取県企業動向調査によると、平成22年10～12月の「自社業況の総合判断」は、前期(7～9月)に比べて製造業では食料品で、非製造業では建設業で好転したことなどから、全産業では+2.0と前期(0.5)よりも2.5ポイント上昇し、好転した。また、前回調査時(10月)の10～12月予想(5.5)よりも7.5ポイント上昇した。

先行き平成23年1～3月の景況感は、製造業では電気機械と食料品で好転幅が縮小し、非製造業では建設業と旅館・ホテルで悪化に転じることなどから、全産業では8.0と10.0ポイント低下し、悪化に転じる見込みであり、先行きに不透明感が漂っている。

1 業種別の景況

製造業の景況感は、前期比2.5ポイント好転幅が拡大し、4四半期連続の好転となった。(+6.5 +9.0)

非製造業の景況感は、前期比3.0ポイント悪化幅が縮小したが、55四半期連続の悪化となった。(9.5 6.5)

2 売上高の景況

売上高のBSIは、製造業では食料品で増加に転じたことなどから、増加幅が拡大した。非製造業では建設業や旅館・ホテル、小売業で増加幅が拡大したことから、増加幅が拡大した。全産業では前期比2.5ポイント増加幅が拡大した。(+4.0 +6.5)

3 受注高の景況

受注高のBSIは、製造業では金属・機械等で増加幅

が縮小したことなどから、増加幅が縮小した。建設業では増加に転じた。全産業では前期比1.0ポイント増加幅が拡大した。(+7.5 +8.5)

4 経常利益の景況

経常利益のBSIは、製造業では金属・機械や紙・紙加工品等で増加幅が縮小したことなどから、増加幅が縮小した。非製造業では建設業で増加に転じたことなどから、減少幅が縮小した。全産業では前期比4.0ポイント上昇し、増加に転じた。(3.0 +1.0)

5 販売価格、仕入価格の景況

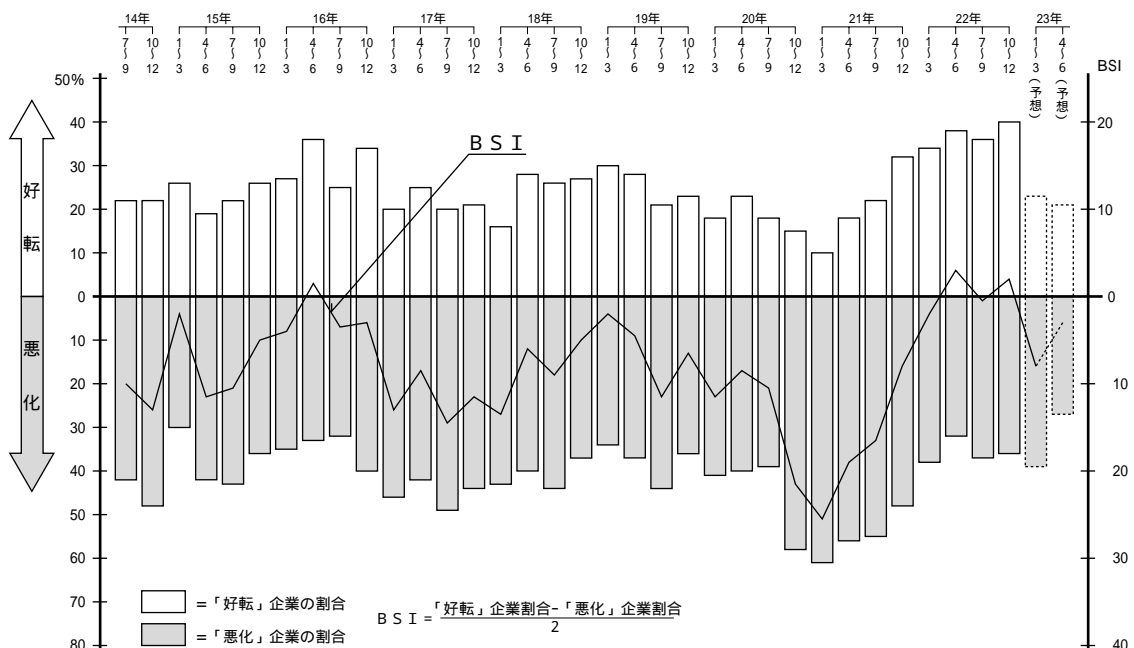
販売価格のBSIは、製造業では食料品で上昇に転じたことなどから、低下幅が縮小した。非製造業では卸売業で上昇に転じたことなどから、低下幅が縮小した。全産業では前期比6.0ポイント低下幅が縮小した。(11.0 5.0)

仕入価格のBSIは、製造業では食料品等で上昇幅が拡大したことなどから、上昇幅が拡大した。非製造業では小売業や運輸業、建設業で上昇幅が拡大したことから、上昇幅が拡大した。全産業では前期比3.5ポイント上昇幅が拡大した。(+7.0 +10.5)

6 経営上の問題点

経営上の問題点(大きいものから2項目選択)についての上位項目(全産業)は、「売上・受注の減少」を選択する企業が全体の50%と最も多く、次いで「先行き見通し難」が35%、「過当競争」が24%、「販売価格の低下」が17%、「仕入価格の上昇」が16%となった。

図 - 1 自社業況の総合判断の推移



2 業況判断.....製造業は好転幅拡大、非製造業は悪化幅縮小

「自社業況の総合判断」BSI 「(好転の割合 - 悪化の割合) ÷ 2」

22年10~12月: +2.0と7~9月(0.5)よりも2.5ポイント、前回(10月)調査の先行き予想(5.5)よりも7.5ポイント上昇し、**好転した。**

23年1~3月: 8.0と10.0ポイント低下し、**悪化に転じる見込み。**

23年4~6月: 3.0と5.0ポイント**悪化幅が縮小する見込み。**

自社の業況が前年同期に比べて好転しているか、悪化しているかについて、経営者の判断を示すもの

製造業のBSI

22年10~12月:金属・機械で好転幅が縮小し、紙・紙加工品で悪化に転じたが、食料品で好転し、電気機械で好転幅が拡大したことなどから、+9.0と7~9月(+6.5)よりも2.5ポイント**好転幅が拡大した。**

23年1~3月:金属・機械で好転幅が拡大するものの、電気機械と食料品で好転幅が縮小し、紙・紙加工品で悪化幅が拡大することなどから、±0.0と**好転幅が縮小する見込み。**

23年4~6月:紙・紙加工品で好転し、電気機械等で好転幅が縮小することなどから、±0.0と**同水準の見込み。非製造業のBSI**

22年10~12月:卸・小売業で悪化幅が拡大したが、建設業で好転し、運輸業で悪化幅が縮小したことから、6.5と7~9月(9.5)よりも3.0ポイント**悪化幅が縮小した。**

23年1~3月:卸売業で悪化幅が縮小するものの、建設業と旅館・ホテルで悪化に転じ、小売業で悪化幅が拡大することから、18.0と**悪化幅が拡大する見込み。**

23年4~6月:旅館・ホテルと小売業で好転し、建設業や卸売業、運輸業で悪化幅が縮小することから、7.0と**悪化幅が縮小する見込み。**

図 - 2 業況総合判断 (製造業)

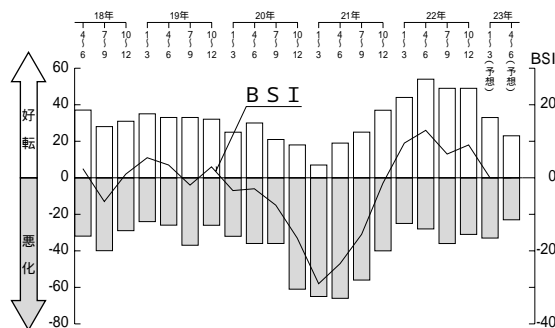
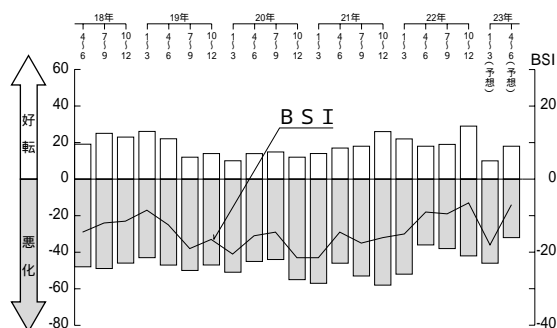


図 - 3 業況総合判断 (非製造業)



3 売上.....製造業、非製造業ともに増加幅拡大

製造業の売上高BSI

22年10~12月:金属・機械で増加幅が縮小し、紙・紙加工品と印刷・その他で減少に転じたが、食料品で増加に転じ、電気機械で増加幅が拡大したことなどから、+10.5と7~9月(+7.0)よりも3.5ポイント**増加幅が拡大した。**

23年1~3月:金属・機械で増加幅が拡大するものの、電気機械と食料品で増加幅が縮小することなどから、+2.0と8.5ポイント**増加幅が縮小する見込み。**

非製造業の売上高BSI

22年10~12月:卸売業で減少幅が拡大し、運輸業で減少に転じたが、建設業や旅館・ホテル、小売業で増加幅が拡大したことから、+1.5と7~9月(±0.0)よりも1.5ポイント**増加幅が拡大した。**

23年1~3月:卸売業で減少幅が縮小するものの、建設業と旅館・ホテルで減少に転じ、小売業で増加幅が縮小することから、10.0と**減少に転じる見込み。**

売上高にかかる回答の集計(回答企業の加重平均)

全産業(31社)

22年10~12月実績:前年同期比+6.9%

23年1~3月予想:同+2.9%

製造業(22社)

22年10~12月:電気機械や金属製品等で増加したことから、同+9.5%だった。

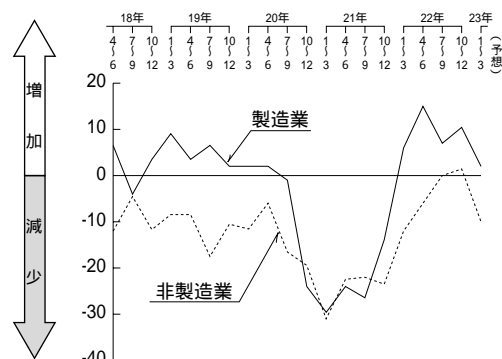
23年1~3月:金属製品等で増加することから、同+4.4%の見込み。

非製造業(9社)

22年10~12月:旅館・ホテル等で増加したことから、同+2.1%だった。

23年1~3月:旅館・ホテル等で増加するものの、小売業等で減少し、同0.1%と横ばいの見込み。

図 - 4 売上高のBSI



4 受注..... 製造業は増加幅縮小、建設業は増加に転じた

製造業の受注高BSI

22年10～12月: 食料品等で減少幅が縮小し、電気機械で増加幅が拡大したものの、金属・機械等で増加幅が縮小し、紙・紙加工品で減少に転じたことなどから、+6.0と7～9月(+10.0)よりも4.0ポイント増加幅が縮小した。

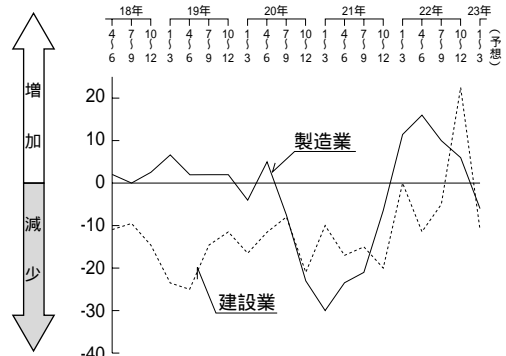
23年1～3月: 電気機械で増加幅が縮小し、食料品等で減少に転じるなどから、6.0と12.0ポイント低下し、減少に転じる見込み。

建設業の受注高BSI

22年10～12月: +22.5と7～9月(5.0)から27.5ポイント上昇し、増加に転じた。

23年1～3月: 11.0と33.5ポイント低下し、再び減少に転じる見込み。

図 - 5 受注額のBSI



5 経常利益..... 製造業は増加幅縮小、非製造業は減少幅縮小

製造業の経常利益BSI

22年10～12月: 電気機械で増加幅が拡大し、食料品で減少幅が縮小したものの、金属・機械や紙・紙加工品等で増加幅が縮小したことなどから、+4.0と7～9月(+5.5)よりも1.5ポイント増加幅が縮小した。

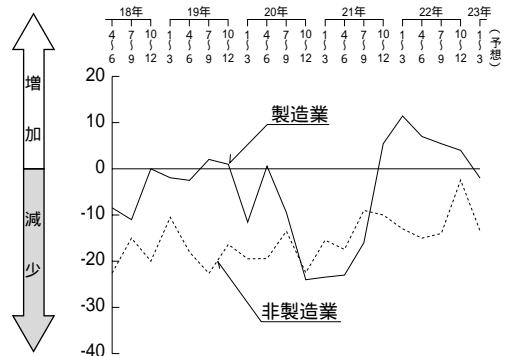
23年1～3月: 電気機械や金属・機械等で増加幅が縮小したことなどから、2.0と6.0ポイント低下し、減少に転じる見込み。

非製造業の経常利益BSI

22年10～12月: 運輸業で減少に転じたが、建設業で増加に転じ、卸・小売業と旅館・ホテルで減少幅が縮小したことなどから、2.5と7～9月(14.0)よりも11.5ポイント減少幅が縮小した。

23年1～3月: 建設業と旅館・ホテルで減少に転じ、卸売業で減少幅が拡大することなどから、13.5と11.0ポイント減少幅が拡大する見込み。

図 - 6 経常利益のBSI



6 在庫..... 製品在庫は過剰感上昇、商品在庫は過剰感低下

製品在庫BSI「(不足 - 過剰) ÷ 2」

22年10～12月: 食料品等で過剰感が低下したものの、電気機械等で過剰感に転じ、金属・機械で不足感が低下したことなどから、4.5と7～9月(1.0)よりも3.5ポイント過剰感が上昇した。

23年1～3月: 木材・木製品や電気機械、印刷・その他で過剰感が低下したことなどから、1.0と過剰感が低下する見込み。

商品在庫BSI

22年10～12月: 卸売業で過剰感が低下したことなどから、6.0と7～9月(10.0)よりも4.0ポイント過剰感が低下した。

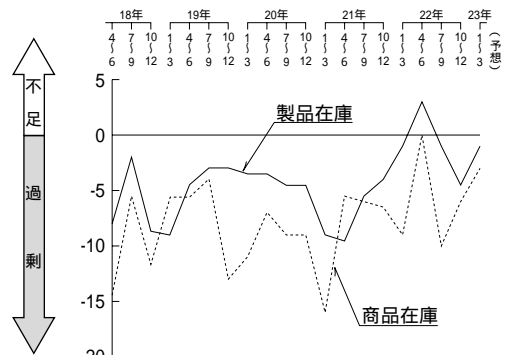
23年1～3月: 小売業で不足感が上昇することなどから、3.0と3.0ポイント過剰感が低下する見込み。

製造業の原材料在庫BSI

22年10～12月: 金属・機械と電気機械で不足感が低下したことなどから、1.5と7～9月(+2.5)よりも4.0ポイント悪化し、過剰感に転じた。

23年1～3月: 電気機械と紙・紙加工品で不足感が上昇することなどから、+2.5と不足感に転じる見込み。

図 - 7 製品・商品在庫のBSI



7 販売価格・仕入価格.....販売価格は低下幅縮小、仕入価格は上昇幅拡大

販売価格BSI「(上昇 - 低下) ÷ 2」

22年10～12月: 5.0と7～9月(11.0)より6.0ポイント低下幅が縮小した。

23年1～3月: 5.5とほぼ同水準の見込み。

製造業の販売価格BSI

22年10～12月: 金属機械等で低下幅が拡大したが、食品等で上昇に転じ、電気機械や紙・紙加工品等で低下幅が縮小したことから、5.5と7～9月(13.5)より8.0ポイント低下幅が縮小した。

23年1～3月: 窯業・土石で上昇幅が縮小するが、金属・機械で低下幅が縮小することから、5.0とほぼ同水準の見込み。

非製造業の販売価格BSI

22年10～12月: 旅館・ホテルと運輸業で低下に転じたが、卸売業で上昇に転じ、小売業と建設業で低下幅が縮小したことから、4.5と7～9月(8.0)より3.5ポイント低下幅が縮小した。

23年1～3月: 小売業で上昇幅が拡大するものの、建設業で低下に転じることから、6.0と1.5ポイント低下幅が拡大する見込み。

込み。

原材料仕入価格BSI「(上昇 - 低下) ÷ 2」

22年10～12月: +10.5と7～9月(+7.0)より3.5ポイント上昇幅が拡大した。

23年1～3月: +16.5と6.0ポイント上昇幅が拡大する見込み。

製造業の原材料仕入価格BSI

22年10～12月: 金属・機械等で上昇幅が縮小したものの、食品等で上昇幅が拡大し、電気機械で上昇に転じたことから、+11.5と7～9月(+6.0)より5.5ポイント上昇幅が拡大した。

23年1～3月: 金属・機械や窯業・土石、食品で上昇幅が拡大することから、+17.5と6.0ポイント上昇幅が拡大する見込み。

非製造業の原材料仕入価格BSI

22年10～12月: 旅館・ホテルと卸売業で上昇幅が縮小したものの、小売業や運輸業、建設業で上昇幅が拡大したことから、+10.5と7～9月(+8.0)より2.5ポイント上昇幅が拡大した。

23年1～3月: 卸売業と建設業で上昇幅が拡大することから、+14.5と4.0ポイント上昇幅が拡大する見込み。

図 - 8 販売価格のBSI

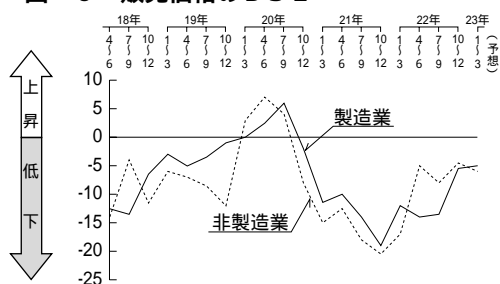
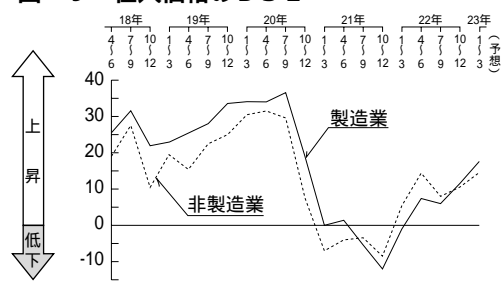


図 - 9 仕入価格のBSI



8 資金繰り・借入金残高.....資金繰りは製造業、非製造業ともに横ばい

製造業の資金繰りBSI「(楽 - 苦しい) ÷ 2」

22年10～12月: 電気機械や印刷・その他等で悪化した、金属・機械や紙・紙加工品等で改善し、±0.0と7～9月と同水準だった。

23年1～3月: 電気機械や紙・紙加工品、木材・木製品で悪化することから、4.5に悪化する見込み。

非製造業の資金繰りBSI

22年10～12月: 旅館・ホテルと運輸業で改善したものの、卸売業と建設業で悪化し、8.0と7～9月と同水準だった。

23年1～3月: 卸売業で改善するものの、建設業で悪化することから、10.5と2.5ポイント悪化する見込み。

製造業の借入金残高BSI「(減少 - 増加) ÷ 2」

22年10～12月: 金属・機械等で減少幅が拡大したものの、電気機械や食品で減少幅が縮小したことなどから、+20.0と7～9月(+21.0)より1.0ポイント減少幅が縮小した。

23年1～3月: 電気機械や金属・機械等で減少幅が縮小することなどから、+15.0と5.0ポイント減少幅が縮小する見込み。

非製造業の借入金残高BSI

22年10～12月: 小売業で増加に転じたが、旅館・ホテルで減少に転じたことなどから、+8.0と7～9月(+5.0)より3.0ポイント減少幅が拡大した。

23年1～3月: 旅館・ホテル等が増加に転じることなどから、±0.0と減少幅が縮小する見込み。

図 - 10 資金繰りのBSI

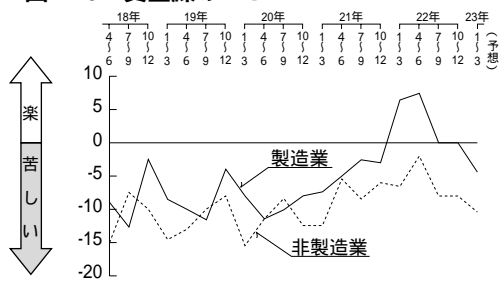
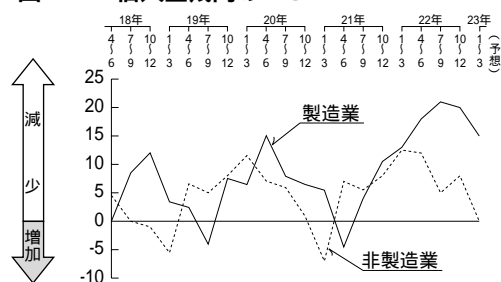


図 - 11 借入金残高のBSI



9 雇 用..... 製造業、非製造業ともに過剰感低下

製造業の常用雇用者BSI「(過剰 - 不足) ÷ 2」

22年10～12月:電気機械で過剰感が上昇したが、金属・機械や食料品等で過剰感が低下したことなどから、+6.0と7～9月(+7.5)よりも1.5ポイント過剰感が低下した。

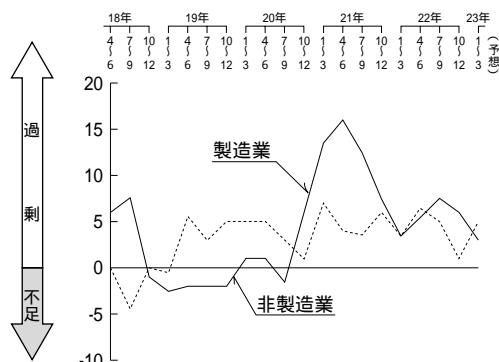
23年1～3月:食料品等で過剰感が上昇するが、電気機械で不足感に転じることなどから、+3.0と3.0ポイント過剰感が低下する見込み。

非製造業の常用雇用者BSI

22年10～12月:小売業で過剰感に転じたが、卸売業と建設業で過剰感が低下したことなどから、+1.0と7～9月(+5.0)よりも4.0ポイント過剰感が低下した。

23年1～3月:旅館・ホテルで過剰感に転じ、小売業で過剰感が上昇することから、+5.0と4.0ポイント過剰感が上昇する見込み。

図 - 12 雇用(常用雇用者)のBSI



10 設備投資..... 製造業は増加、非製造業は減少 補修・更新が主

22年10～12月:前年同期実績(31%)を8ポイント上回る、回答企業の39%が設備投資を実施。

23年1～3月:前年同期実績(32%)を2ポイント上回る、回答企業の34%が設備投資を計画。

表 - 1 業種別設備投資企業割合

()内は前年同期実績:単位%

	22年7～9月 実績	22年10～12月 実績	23年1～3月 計画
全産業	33 (31)	39 (31)	34 (32)
製造業	43 (40)	53 (34)	40 (37)
非製造業	21 (20)	20 (27)	26 (27)
食料品	56 (45)	57 (45)	57 (60)
繊維・縫製	0 (0)	0 (50)	0 (0)
木材・木製品	0 (33)	50 (0)	0 (0)
紙・紙加工品	33 (25)	50 (17)	25 (33)
窯業・土石	0 (25)	0 (0)	0 (0)
金属・機械	70 (50)	69 (36)	54 (31)
電気機械	50 (54)	73 (53)	64 (55)
印刷・その他	43 (0)	25 (14)	0 (29)
建設業	0 (0)	13 (0)	11 (0)
卸売業	19 (13)	0 (17)	0 (19)
小売業	25 (40)	67 (50)	100 (60)
運輸業	0 (0)	25 (60)	0 (25)
旅館・ホテル	80 (60)	20 (43)	40 (40)

製 造 業	22年10 ～ 12月	実施割合 繊維・縫製で低下したが、金属・機械や紙・紙加工品等ほとんどの業種で上昇したことから、53%と前年実績(34%)を19ポイント上回った。
	投資目的	1 補修・更新 54% (前年同期 65%) 2 合理化・省力化 31% (同 35%) 3 増産・能力増強 15% (同 30%) 3 新製品の生産 15% (同 10%) 3 研究開発 15% (同 10%)
業	22年1 ～ 3月	計画割合 印刷・その他や紙・紙加工品等で低下するが、金属・機械と電気機械で上昇することから、40%と前年同期実績(37%)を3ポイント上回る見込み。
	投資目的	1 補修・更新 55% (前年同期 74%) 2 合理化・省力化 50% (同 21%) 3 増産・能力増強 20% (同 21%)
非 製 造 業	22年10 ～ 12月	実施割合 小売業と建設業で上昇したものの、運輸業と旅館・ホテル、卸売業で低下したことから、20%と前年実績(27%)を7ポイント下回った。
	投資目的	1 補修・更新 83% (前年同期 92%) 2 販売力の増強 17% (同 31%) 2 合理化・省力化 17% (同 15%)
業	23年1 ～ 3月	計画割合 小売業と建設業で上昇するものの、運輸業と卸売業で低下することから、26%と前年実績(27%)を1ポイント下回る見込み。
	投資目的	1 補修・更新 63% (前年同期 67%) 2 販売力の増強 25% (同 42%) 3 新規事業 13% (同 8%) 3 管理業務の合理化・省力化 13% (同 8%)

注:投資目的は複数回答、構成比。建設業は製造業に含む。

図 - 13 設備投資実施企業の割合の推移

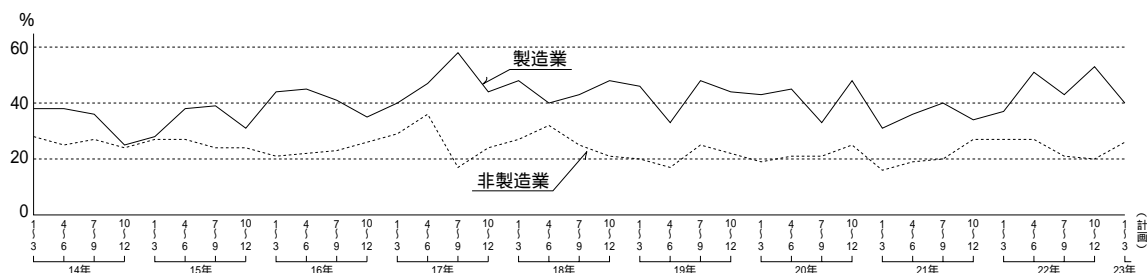
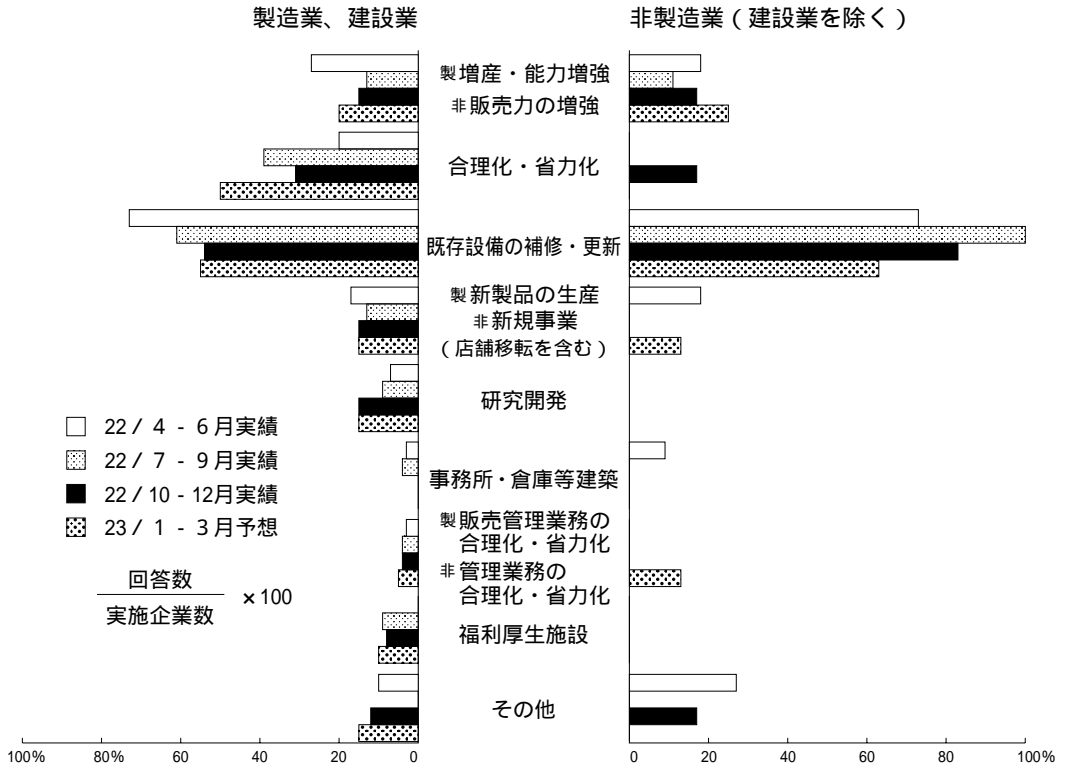


図 - 14 産業別設備投資の目的（複数回答、構成比）



11 経営上の問題点……「売上・受注の減少」、「先行き見通し難」、「過当競争」が上位

平成22年10～12月：経営上の問題点(大きいものから2項目選択)の上位3項目(全企業)は、「売上・受注の減少」(50%)、「先行き見通し難」(35%)、「過当競争」(24%)となった。「売上・受注の減少」を選択する企業は、9期連続で50%以上となった。

平成23年1～3月：上位3項目は10～12月と同様だが、いずれの比率も上昇し、先行きに不透明感が漂っている。

(単位：%)

	問題点	22年		23年
		7～9月	10～12月	1～3月 予想
全産業	1 売上・受注の減少	52	50	55
	2 先行き見通し難	30	35	39
	3 過当競争	26	24	30
	4 販売価格の低下	24	17	15
	5 仕入価格の上昇	11	16	18
製造業	1 売上・受注の減少	48	45	45
	2 先行き見通し難	32	37	45
	3 仕入価格の上昇	11	20	24
	3 販売価格の低下	30	20	18
	5 過当競争	18	16	20
非製造業	1 売上・受注の減少	57	56	67
	2 過当競争	36	33	41
	2 先行き見通し難	26	33	31
	4 販売価格の低下	17	13	10
	5 仕入価格の上昇	12	10	10
	5 資金繰り難	7	10	10
	5 諸経費の増加	2	10	5

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数(回答なしを含む)

図 - 15 経営上の問題点（上位5項目）

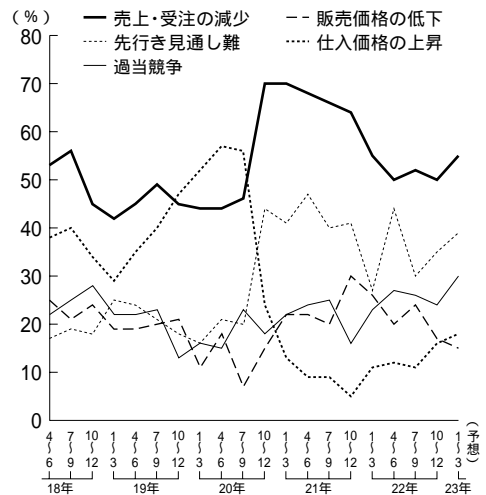


表 - 2 業種別 業況判断 B S I

業種	期 判断	22年7～9月実績				22年10～12月実績				23年1～3月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2
全産業		36	27	37	0.5	40	24	36	2.0	23	38	39	8.0
食料品		33	11	56	11.5	42	29	29	6.5	29	42	29	0.0
繊維・縫製		0	33	67	33.5	0	100	0	0.0	0	0	100	50.0
木材・木製品		0	50	50	25.0	0	0	100	50.0	0	50	50	25.0
紙・紙加工品		33	34	33	0.0	20	40	40	10.0	0	40	60	30.0
窯業・土石		20	0	80	30.0	40	40	20	10.0	0	60	40	20.0
金属・機械		83	9	8	37.5	64	7	29	17.5	64	15	21	21.5
電気機械		64	9	27	18.5	73	0	27	23.0	45	28	27	9.0
印刷・その他		57	14	29	14.0	25	50	25	0.0	0	75	25	12.5
製造業		49	15	36	6.5	49	20	31	9.0	33	34	33	0.0
建設業		20	50	30	5.0	60	10	30	15.0	20	30	50	15.0
卸売業		13	43	44	15.5	8	34	58	25.0	0	62	38	19.0
小売業		25	37	38	6.5	29	28	43	7.0	29	14	57	14.0
運輸業		0	33	67	33.5	0	50	50	25.0	0	50	50	25.0
旅館・ホテル		40	40	20	10.0	40	40	20	10.0	0	60	40	20.0
非製造業		19	43	38	9.5	29	29	42	6.5	10	44	46	18.0

表 - 3 業種別 売上高 B S I

業種	期 判断	22年7～9月実績				22年10～12月実績				23年1～3月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		42	24	34	4.0	45	23	32	6.5	28	38	34	3.0
食料品		22	0	78	28.0	67	16	17	25.0	33	67	0	16.5
繊維・縫製		0	33	67	33.5	0	100	0	0.0	0	0	100	50.0
木材・木製品		0	50	50	25.0	0	0	100	50.0	0	50	50	25.0
紙・紙加工品		50	17	33	8.5	20	40	40	10.0	0	75	25	12.5
窯業・土石		20	0	80	30.0	20	40	40	10.0	0	60	40	20.0
金属・機械		83	9	8	37.5	64	7	29	17.5	71	0	29	21.0
電気機械		67	25	8	29.5	82	0	18	32.0	36	27	36	0.0
印刷・その他		43	43	14	14.5	25	25	50	12.5	0	75	25	12.5
製造業		48	18	34	7.0	52	17	31	10.5	34	36	30	2.0
建設業		20	60	20	0.0	67	22	11	28.0	25	37	38	6.5
卸売業		38	18	44	3.0	18	27	55	18.5	9	55	36	13.5
小売業		38	37	25	6.5	43	28	29	7.0	43	14	43	0.0
運輸業		33	34	33	0.0	0	50	50	25.0	0	50	50	25.0
旅館・ホテル		40	20	40	0.0	40	40	20	10.0	20	40	40	10.0
非製造業		33	34	33	0.0	36	31	33	1.5	20	40	40	10.0

表 - 4 業種別 経常利益 B S I

業種	判断	22年7～9月実績				22年10～12月実績				23年1～3月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		36	22	42	3.0	39	24	37	1.0	21	44	35	7.0
食料品		44	0	56	6.0	43	14	43	0.0	29	42	29	0.0
繊維・縫製		0	67	33	16.5	0	0	100	50.0	0	0	100	50.0
木材・木製品		0	0	100	50.0	0	0	100	50.0	0	50	50	25.0
紙・紙加工品		50	17	33	8.5	40	20	40	0.0	0	20	80	40.0
窯業・土石		0	20	80	40.0	40	40	20	10.0	20	60	20	0.0
金属・機械		75	8	17	29.0	50	14	36	7.0	38	31	31	3.5
電気機械		58	9	33	12.5	64	9	27	18.5	43	28	29	7.0
印刷・その他		71	0	29	21.0	25	50	25	0.0	0	100	0	0.0
製造業		50	11	39	5.5	45	18	37	4.0	29	38	33	2.0
建設業		10	60	30	10.0	60	10	30	15.0	22	45	33	5.5
卸売業		19	25	56	18.5	23	31	46	11.5	0	62	38	19.0
小売業		13	37	50	18.5	29	42	29	0.0	29	42	29	0.0
運輸業		33	34	33	0.0	0	50	50	25.0	0	50	50	25.0
旅館・ホテル		20	40	40	10.0	25	50	25	0.0	0	50	50	25.0
非製造業		17	38	45	14.0	32	31	37	2.5	11	51	38	13.5

表 - 5 業種別 販売価格 B S I

業種	判断	22年7～9月実績				22年10～12月実績				23年1～3月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		8	62	30	11.0	11	68	21	5.0	12	65	23	5.5
食料品		0	89	11	5.5	14	86	0	7.0	14	86	0	7.0
繊維・縫製		0	67	33	16.5	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		0	50	50	25.0	0	0	100	50.0	0	0	100	50.0
紙・紙加工品		0	67	33	16.5	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
窯業・土石		0	60	40	20.0	40	40	20	10.0	20	60	20	0.0
金属・機械		9	55	36	13.5	7	57	36	14.5	21	36	43	11.0
電気機械		8	59	33	12.5	0	90	10	5.0	10	70	20	5.0
印刷・その他		0	71	29	14.5	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
製造業		4	65	31	13.5	8	73	19	5.5	13	64	23	5.0
建設業		13	62	25	6.0	17	66	17	0.0	0	67	33	16.5
卸売業		13	60	27	7.0	17	75	8	4.5	17	75	8	4.5
小売業		13	37	50	18.5	29	42	29	0.0	29	57	14	7.5
運輸業		0	100	0	0.0	0	75	25	12.5	0	75	25	12.5
旅館・ホテル		25	50	25	0.0	0	40	60	30.0	0	40	60	30.0
非製造業		14	56	30	8.0	15	61	24	4.5	12	64	24	6.0

表 - 6 業種別 仕入価格 B S I

業種	判断	22年7～9月実績				22年10～12月実績				23年1～3月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		23	68	9	7.0	25	71	4	10.5	35	63	2	16.5
製造業	食料品	22	67	11	5.5	57	43	0	28.5	71	29	0	35.5
	繊維・縫製	33	67	0	16.5	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
	木材・木製品	0	100	0	0.0	50	0	50	0.0	0	100	0	0.0
	紙・紙加工品	17	83	0	8.5	20	80	0	10.0	20	80	0	10.0
	窯業・土石	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	40	60	0	20.0
	金属・機械	42	58	0	21.0	29	71	0	14.5	50	50	0	25.0
	電気機械	8	67	25	8.5	18	73	9	4.5	18	73	9	4.5
	印刷・その他	29	57	14	7.5	25	75	0	12.5	25	75	0	12.5
非製造業		21	70	9	6.0	27	69	4	11.5	37	61	2	17.5
製造業	建設業	12	88	0	6.0	14	86	0	7.0	29	71	0	14.5
	卸売業	25	62	13	6.0	17	75	8	4.5	33	58	8	12.5
	小売業	14	72	14	0.0	29	71	0	14.5	29	71	0	14.5
	運輸業	50	50	0	25.0	75	25	0	37.5	75	25	0	37.5
	旅館・ホテル	50	50	0	25.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
非製造業		24	68	8	8.0	24	73	3	10.5	32	65	3	14.5

表 - 7 経営上の問題点（上位項目）

（単位：％）

	問題点	18年			19年			20年			21年			22年			23年				
																	予想				
製造業	1 売上・受注の減少	38	52	36	29	37	37	35	39	34	43	68	70	71	61	58	56	44	48	45	45
	2 先行き見通し難	20	19	20	24	25	23	20	11	25	23	48	50	56	44	45	38	51	32	37	45
	3 仕入価格の上昇	50	48	42	35	46	50	55	66	60	68	32	17	12	12	10	11	18	11	20	24
	3 販売価格の低下	22	23	20	20	18	17	24	11	21	7	11	22	15	16	24	20	22	30	20	18
	5 過当競争	12	15	20	16	14	17	8	7	8	13	9	11	8	25	8	20	18	18	16	20
	6 諸経費の増加	25	11	12	18	18	21	20	14	26	16	4	4	5	12	10	9	16	11	12	6
	7 為替相場の変動	3	2	0	4	4	6	4	5	2	5	2	2	3	4	8	4	7	5	10	8
	8 人件費の増加	13	5	7	2	11	8	10	4	4	9	5	2	3	7	6	5	7	16	6	2
非製造業	1 売上・受注の減少	69	62	54	53	53	60	55	49	55	50	73	70	63	71	72	54	59	57	56	67
	2 過当競争	33	36	37	28	31	28	18	27	22	35	27	36	42	2	26	26	37	36	33	41
	2 先行き見通し難	14	18	16	26	24	18	16	22	16	17	39	30	37	36	36	13	35	26	33	31
	4 販売価格の低下	29	20	28	19	20	22	18	12	14	6	20	23	29	24	38	33	17	17	13	10
	5 仕入価格の上昇	26	31	25	24	24	32	39	37	53	42	16	9	6	4	0	11	4	12	10	10
	5 資金繰り難	12	13	9	14	9	10	16	16	8	15	14	16	2	11	12	7	0	7	10	10
	5 諸経費の増加	9	11	23	10	9	10	8	10	16	13	12	2	2	27	0	7	4	2	10	5
	8 人件費の増加	5	2	2	0	7	0	4	2	2	4	2	0	6	13	4	9	11	5	5	5

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

目の前のパソコンが、<とりぎん>の窓口になります。

とりぎん

法人インターネットバンキング

～インターネットで経理業務のスピードアップ!～

目の前のパソコンが、<とりぎん>の窓口になります。
もちろん専用ソフトは必要ありません。
低コストで経理事務がスピーディに行えます。



料金等払込みサービス
「Pay-easy(ペイジー)」対応
税金等の各種料金をインターネットバンキングで
お支払いいただけます。(取扱収納機関 順次拡大)

サービスメニュー

Internet Banking

サービス		フルWeb	エコノミーWeb
照会・振込サービス	残高照会	○	○
	入出金明細照会	○	○
	振込・振替(当日扱い)	○	○
	振込・振替(予約扱い)	○	○
料金等払込みサービス「Pay-easy(ペイジー)」	各種料金等払込み	○	○
一括データ伝送サービス	総合振込	○	—
	給与振込	○	—
	賞与振込	○	—
	Net集金(口座振替代金回収)	○	—
	地方納税付	○	—
外為Webサービス	外国送金受付サービス	○	○
	輸入信用状受付サービス	○	○

月額基本手数料無料キャンペーン実施中! 期間/平成22年10月15日(金)～平成23年3月31日(木)

サービス基本手数料【月額】

Internet Banking

	月額基本手数料(消費税込)
フルWeb版	3,150円
エコノミーWeb版	1,050円
フルWeb版+外為Webサービス	4,200円
エコノミーWeb版+外為Webサービス	2,100円

サービスに関するお問い合わせ、お申込みは

<とりぎん>ビジネスWebサポートセンター



0120-86-4513

受付時間 平日/午前9時～午後7時 ※ただし銀行の休業日は除きます

TOTTORI BANK



青い鳥の銀行です。

鳥取銀行

平成23年3月1日現在

発行 鳥取銀行 ふるさと振興部
くらしと経営相談所

〒680 8686 鳥取市永楽温泉町171番地
TEL 0857-37-0220

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています